

久留米工業高等専門学校	開講年度	平成30年度 (2018年度)	授業科目	経済学			
科目基礎情報							
科目番号	5CG09	科目区分	一般 / 選択				
授業形態	講義	単位の種別と単位数	履修単位: 1				
開設学科	生物応用化学科	対象学年	5				
開設期	後期	週時間数	2				
教科書/教材	テキスト: 松尾 匡、橋本 貴彦 『これからのマルクス経済学入門』 (筑摩選書) 2016年						
担当教員	松下 愛						
到達目標							
①経済学とはどのような学問かを理解する。 ②マクロ・ミクロ経済学の基本的な考え方を理解する。 ③経済現象を経済学的に把握する。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安				
評価項目1	マルクス経済学の概念を理解し、資本主義経済を説明できる。	マルクス経済学の基本概念を理解できている。	マルクス経済学の基本概念を理解できていない。				
評価項目2							
学科の到達目標項目との関係							
JABEE A-2							
教育方法等							
概要	昨年度までは、いわゆる「近代経済学」の基本概念についての学んできた。そこで本年度の本講義では、マルクス経済学の基本的な考え方を学びます。マルクス経済学の基本的な見方・考え方を修得して、資本主義経済の本質を理解することを目的とします。						
授業の進め方・方法	講義は、基本的に受講生がレジユメを作成し、発表する。発表者以外の受講生には講義中に発言を必ず求める。議論に参加しない受講生は不合格となる可能性がある。成績評価は、発表 (50%)、議論への参加 (20%)、レポート (30%) の割合で算出する。なお再試は行わない。						
注意点	成績評価はレポートによる。レポートは、マルクス経済学の基本的な概念を論述したうえで、その矛盾を説得的に説明すること。なお基本的な概念は以下の通りである。「史的唯物観」、「階級」、「労働疎外」、「労働価値説」などである。						
授業計画							
	週	授業内容	週ごとの到達目標				
後期	3rdQ	1週	イントロダクション				
		2週	階級と所有①	階級と所有の関係について理解できる			
		3週	階級と所有②	同上			
		4週	疎外論と唯物史観①	労働疎外について理解できる			
		5週	疎外論と唯物史観②	唯物史観の公式を説明できる			
		6週	疎外論と唯物史観③	労働疎外を唯物史観のなかで把握できる			
		7週	投下労働価値概念の意義①	労働価値説の基本概念について説明できる			
		8週	投下労働価値概念の意義②	同上			
	4thQ	9週	投下労働価値概念の意義③	剰余価値について理解できる			
		10週	投下労働価値概念の意義④	搾取と労働価値説の関係を説明できる			
		11週	マルクス経済学で日本社会を数量分析する①	数理マルクス経済学の基本を理解できる			
		12週	マルクス経済学で日本社会を数量分析する②	同上			
		13週	マルクス経済学で日本社会を数量分析する③	同上			
		14週	マルクス経済学で日本社会を数量分析する④	同上			
		15週	まとめ	マルクス経済学を体系的に理解できる			
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	50	0	20	0	30	100
基礎的能力	0	50	0	20	0	30	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0